川尻 かわしり

時を超えて多くの石仏が残る

天台山の麓に広がる集落に、古の人々が願いを込めた個性的な石仏が随所に残っています。山道を巡りながら、名もなき人々の創意あふれる仏様に出会い、心温まる時間を過ごしてみませんか？

北の谷磨崖仏（きたのたにまがいぶつ）

3m大の磨崖面に50cmほどの舟形を二つ並べ、左に不動明王、右に地蔵菩薩の立像が彫り込まれています。紀年銘は天正17年（1548）。

北の谷多尊石仏（きたのたにたそんせきぶつ）

安土桃山時代の天正8年（1580）造立。最上段の中央に定印阿弥陀像、左に観音菩薩、右に地蔵菩薩が彫られ、その下段には逆修仏である17体の地蔵が並んでいます。

おすすめよりみちスポット

1 レストランふるさと

猪の剥製が飾られた店内は昭和の雰囲気。
12月から3月ごろまで、猪の肉を使った白みそ仕立ての名物「ししうどん」が味わえる。

●営業時間／昼…午前10時30分～午後3時30分（L.O.午後3時）
夜…午後5時30分～午後9時（L.O.午後8時）
日曜日…午前10時30分～午後5時（L.O.午後4時）
●定休日／月曜日 ●豊能郡豊能町川尻14-1 ●072-739-0177

法輪寺（ほうりんじ）

光明山遍照院法輪寺・真言宗のお寺。開基は秘仏「出世大黒天」彫った弘法大師説もありますが、箕面・勝尾寺開基した開成皇子が勝尾寺へ移る前に草庵を結んだのが始まりではないかと思われます。本尊は妙観察智阿弥陀如来で、薬師如来、弘法大師像、牛頭天王、八大龍王などの仏像が祀られています。

北の谷法輪寺宝筐印塔（きたのたにほうりんじほうきょういんとう）

「宝筐印塔」は一切如来心全身舎利宝筐印陀羅尼経から出た名称で、この経典を写経して塔の中に置いて礼拝供養すれば、生きている間は災害から免れ、死後は必ず極楽に生まれかわるとされていまました。装飾が多いものは身分の高い者に用いられました。

塔の様式などから南北朝時代の造立といわれています。

北の谷法輪姫の塔（きたのたにほうりんひめとう）

装飾が施された立派な造りで、中央の塔の基礎に文和4年（1355）の紀年銘があり、南北朝時代のものといわれています。

向井山宝篋印塔（むかいやまほうきょういんとう）

地上高さ305・5cm、花崗岩製。豊能町にある江戸時代の宝篋印塔の最も古いもので、基礎正面に胎蔵界大日如来の梵字を刻み、他の3面にも銘文があり、享保7年（1722）当地の塩山左衛門満雅が現世安穏、後生菩提を祈って建立したものと記されています。

中の谷多尊石仏（なかのたにたそんせきぶつ）

碑文に天正元年（1573）とあり、安土桃山時代に造立したとされています。

上部に阿弥陀三尊、その下に16体の後生の安楽往生を願った逆修仏が彫られています。

打越阿弥陀三尊石仏（うちこしあみださんぞんせきぶつ）

向かって右に観音菩薩、左に勢至菩薩の脇侍を従えた阿弥陀如来像。平安時代である正平7年（1352）当時この地方は足利氏勢力下にありました。近くに多宝塔、万霊塔もあります。